



2026年年頭のごあいさつ 日本包装専士会会長

新年あけましておめでとうございます。平素は日本包装専士会に対し格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年は日本包装管理士会と日本包装コンサルタント協会の後援を受け、技術士包装物流会と合同で包装技術セミナーを開催しました。共催は初めての試みでした。セミナーでは廃棄物処理やリサイクルにおけるデジタル化推進について、双方向の意見交換の場を設けました。

また引き続き包装の未来に関する考察を進めるとともに、その考察の公表の場であるTOKYO PACK 2026への出展準備を始めました。TOKYO PACK 2026への出展には前回の2024での課題を教訓として、さらなる充実を図りたいと考えています。

本年はTOKYO PACK 2026の開催年です。JPIや関連4団体との出展の打ち合わせ、TOKYO PACK 2018から4大会続けて公表している包装の未来に関する取りまとめなど、出展に向けた準備が加速します。今後も引き続き、TOKYO PACK 2026への出展やセミナーの開催に対し包装専士を始め包装業界関係者のご支援をお願い申し上げます。

日本包装専士会 会長 嶋 雅文

関西委員会 日本山村硝子株式会社播磨工場見学

日本山村硝子株式会社の主力工場である播磨工場を日本包装管理士会関西支部の皆さんと共に11月7日に見学しました。ガラスびんの生産においては業界シェアNo.1。ガラスびんの軽量化の推進や環境特性の発信など、循環型社会の実現に貢献しています。製びん・検査・包装・搬送の総合システムも業界に提供しています。原料のケイ砂、ソーダ灰、石灰石、カレット等の搬送から熔融炉、製びん、徐冷、数々の検査機を経由して自動パレット積みを見学。活発な質疑応答を行ない、充実した見学会でした。

